

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸市のごみ施策について
調査期間	2024年11月15日（金曜）～11月28日（木曜）
設問数	全7問（分岐設問除く）
対象モニター数	10,022名
回答モニター数	4,389名（43.8%）

【調査結果概要】

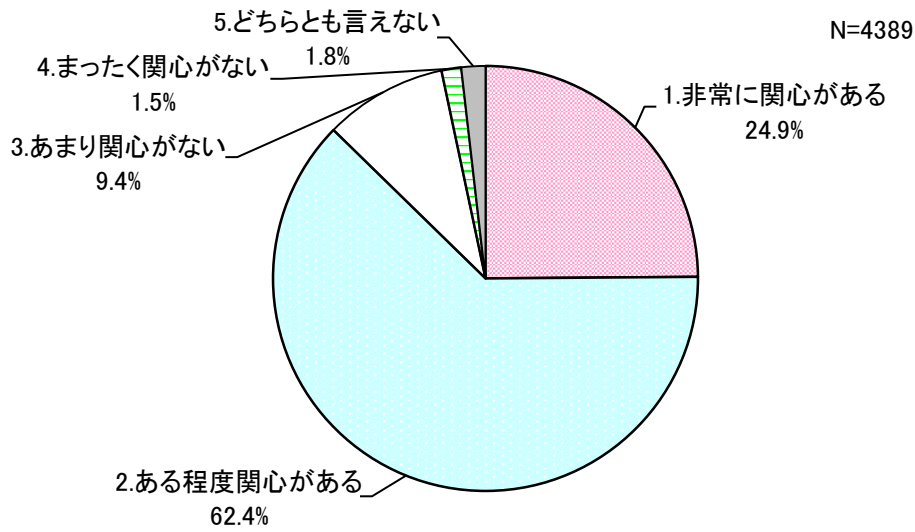
本市では、将来にわたってごみの処理を安定的に継続し、SDGsの達成や資源循環社会の移行に向けて、良好な環境を次世代に引き継ぐことを目指しています。そのための計画改定やごみ課題の解決に向けて、本アンケートを実施しました。

- ・ごみの減量と資源化に「関心がある」方は87.3%、「関心がない」方は10.9%でした。また、本市の取り組みである「6分別収集」は93.7%と最も認知度が高く、ほかにも「資源集団回収」は57.2%の方に認知されていました。本市の取り組みに対する満足度は、「満足している」方が73.4%、「満足していない」方が15.3%でした。
- ・ごみの減量と資源化のための日常的な取り組みとしては、「マイバック（エコバック）、マイカゴの持参」が86.8%、「食品ロスの発生抑制」が72.6%の方に実践されていました。今後取り組みたいことについては、買い過ぎや食べ残しなどの食品ロス発生を少なくするなど幅広い取り組みへのご意向が見られたほか、「市の取り組みについて知る機会を増やす」「できる範囲で協力している」とのお声もありました。
- ・より一層ごみの減量と資源化に取り組むために必要だと思う行政の取り組みについては、「スーパー等店頭回収の実施店舗の拡充、取扱品目の拡充」が49.7%と多くの方から回答をいただきました。その他、リチウムイオン電池や衣服等の資源回収拠点の拡充、学校での環境教育、簡易包装の推奨などの製造者側への働きかけについてご意見が寄せられました。
- ・自由意見では、捨て方がわかりにくいものが多いため、販売店も積極的に回収に取り組んでほしいといった声や、「おいくら」など市と事業者が連携した使いやすいツールの提供、市の施策の周知徹底を求める声がありました。また、環境破壊などへの危機感を持つためにごみの現状を詳しく知れる仕組みや、ごみをコストでなく資源と捉え、ビジネス化するなどの意識改革が必要とのご意見もいただきました。

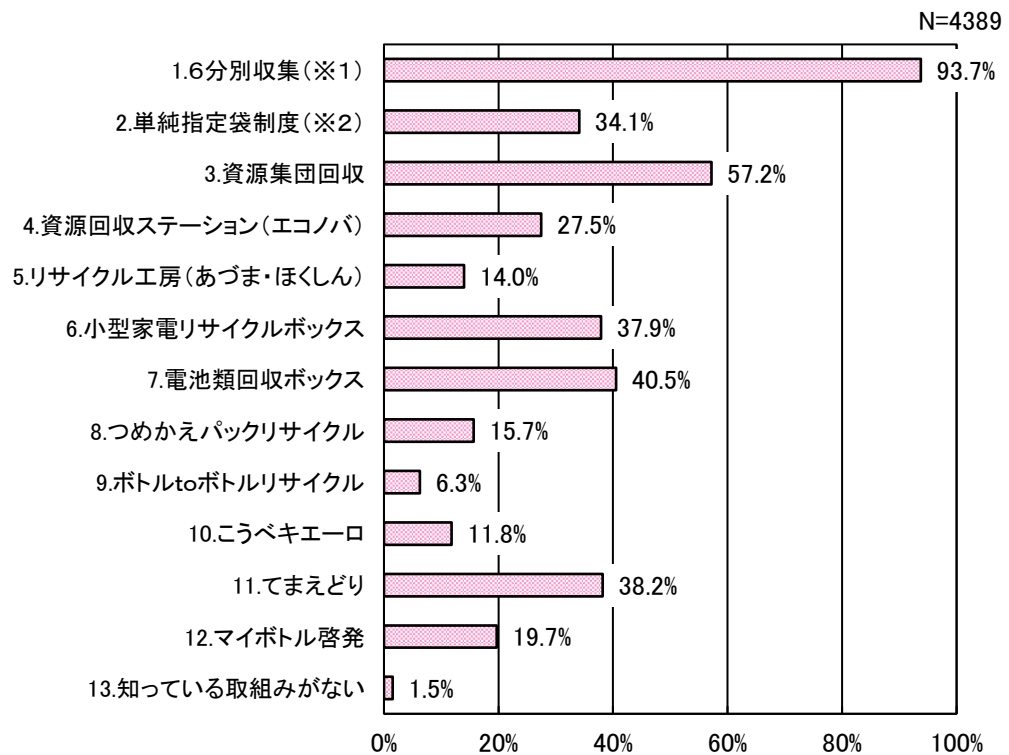
【総評】

ごみの減量と資源化への関心が高く、7割以上の方に本市の取り組みについて満足いただけていることが分かりました。また、市民の皆様と民間事業者とを繋ぐようなツールの提供など、行政として関係性構築をサポートする役割の重要性を再認識しました。引き続き、ごみの減量と資源化を皆様に積極的に取り組んでいただけるよう、より分かりやすい情報発信を検討してまいります。

問1 ごみの減量と資源化（限りある資源の循環的な利用などにより、天然資源の消費を少なくして、環境に配慮すること）にどの程度関心をお持ちですか。



問2 ごみの減量と資源化について、神戸市の取り組みで知っているものを選択してください。

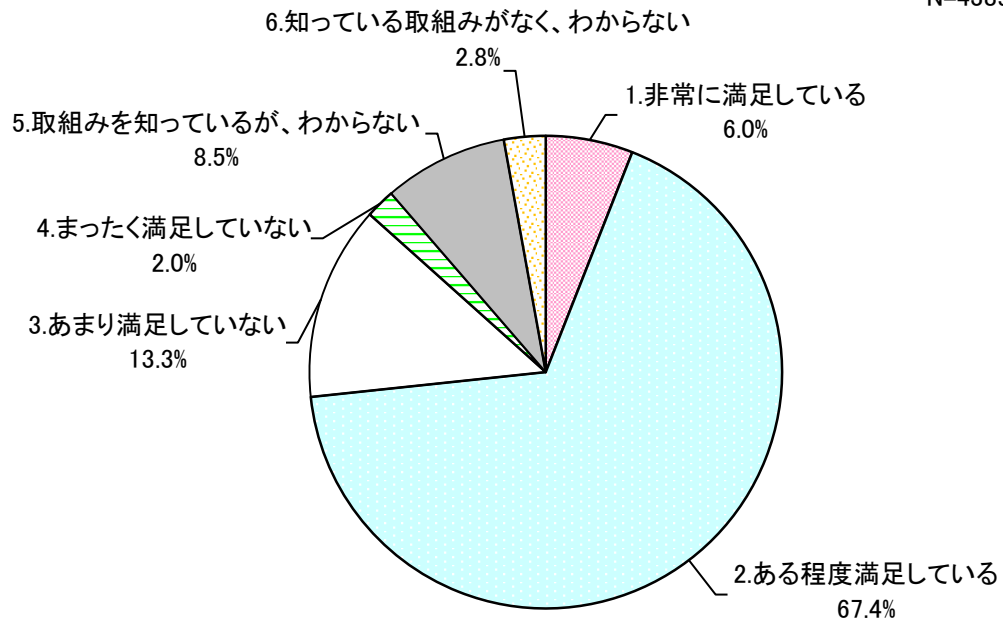


※1 燃えるごみ、燃えないごみ、大型ごみ、容器包装プラスチック、缶びんペットボトル、カセットボンベ・スプレー缶

※2 本市のごみ袋の価格には、ごみ処理費用は含まれておらず、いわゆるごみの有料化ではないこと

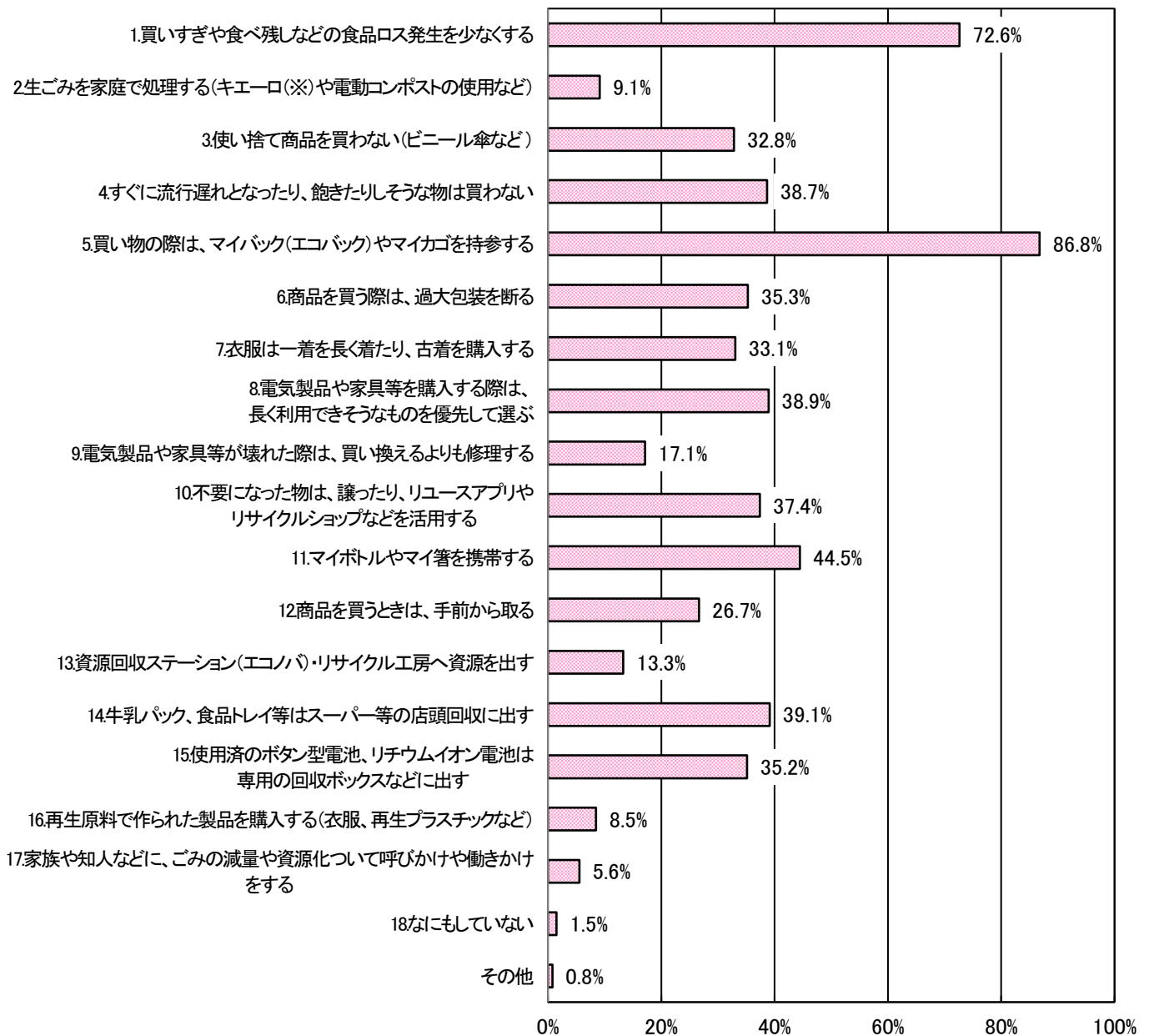
問3 問2のような神戸市の取り組みについて、どの程度満足していますか。

N=4389



問4 ごみの減量と資源化について、あなたは日常的にどういったことに取り組んでいますか。

N=4389



(※) 神戸市_こうべキエーロ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a25748/kobekierohp.html>

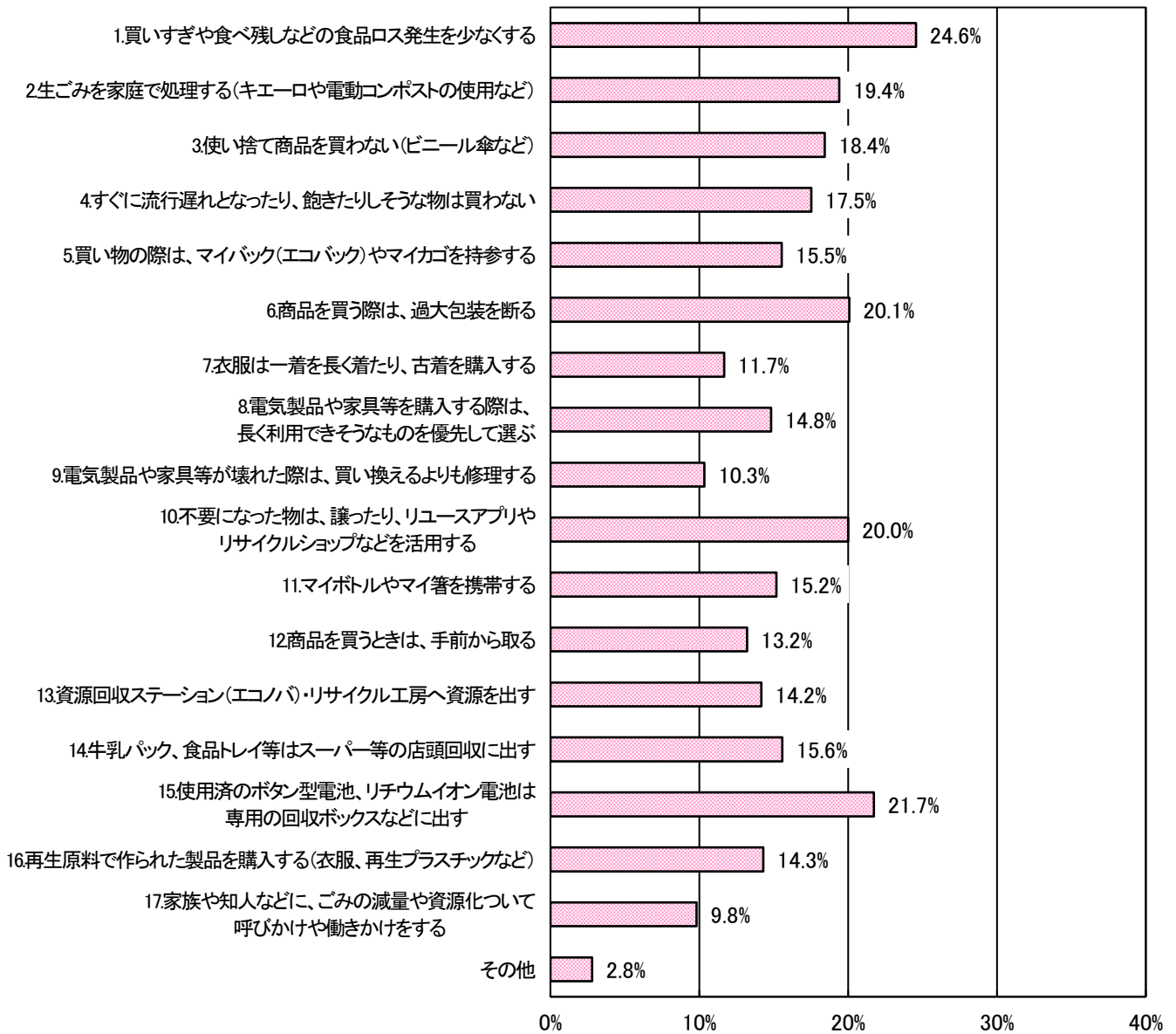
その他

- 物を買う時には捨てる時のこと(リサイクルが可能か、捨てる際の費用、一人で運べる大きさ重さか、人に貰ってもらえるものか、人に譲ったあとの事故のリスクはないか)を考えて買う。捨て方がわからないときは売ってる人や販売者に聞く。答えがはっきりしないときは買うのをやめる。
- スーパーの戸配の資源回収を利用している。

- スーパーの割引コーナーなどもチェックして、すぐに使う予定がある物などはロスを減らす為にもそちらを優先して購入する。
- 野菜、果物の皮などは天日に干してカラカラにしてからごみに出す。
- 古いタオルは動物保護団体に寄付、使用済みカイロも寄付。
- 生ごみはディスポーザーで処理している。

問5 ごみの減量と資源化について、現在は取り組んでいないものの、今後、あなたが取り組みたいと思うものを選んでください。

N=4389

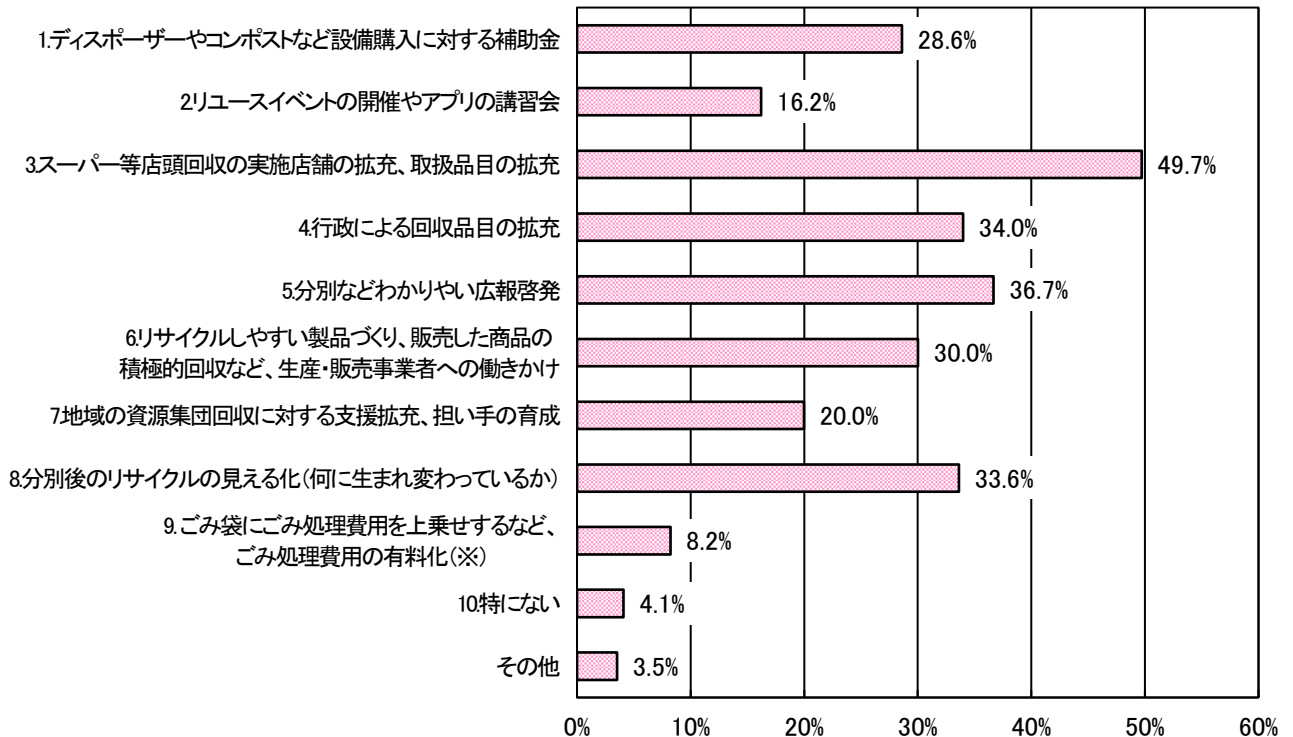


その他

- ・一つの用途にしか使えないものではなく、多用途に使えるモノを選んで物を増やさない。
- ・神戸市のごみ袋は容量の小さいものを選び、少ない容量で出すようにする。
- ・自宅内で、日用品の在庫数がすぐに確認できるように整理整頓をする。
- ・可能ならディスポーザーをつけたいです。コンポストは腐ったり虫が発生しそうで怖くてずっと使わずにいます。
- ・取り組みたくても回収場所がどこにあるかわからない、また近くにないので自分の行動範囲でできることには協力しています。
- ・市のいろいろな取り組みについて知る機会を増やす。長く住んでいる市民ですが知らないことばかりでした。

問6 あなたがごみの減量と資源化により一層取り組むために、必要だと思う行政の取組みを選んでください。

N=4389



(※) 神戸市の家庭ごみ袋の代金には、焼却や運搬などの処理費用は含まれていません
 神戸市 FAQ「ごみの有料化について」

<https://search.app/yaVVPBQtQzbsrN96>

その他

- ・ 食用油の回収を早く広げて欲しい。
- ・ 24時間ペットボトルやカン、雑紙などを回収してくれるスペース。
- ・ リチウムイオン電池の回収に力を入れてほしい。
- ・ 電池の回収ボックスがどこにあるのか、わからない。牛乳パック等の回収もぜひ場所を増やしてもらいたい。
- ・ 利便性。ごみステーションを増やす。リサイクル品回収系の場所を増やす。
- ・ 段ボールを資源ごみとして毎週回収してほしいです。通販の利用の増加などにより、段ボールが増えており、地域の資源集団回収に持っていくのが大変に感じています。
- ・ 捨てたいごみの分別が分からず、ネットで品目検査するもない品目が出るたびに電話で問い合わせるのが面倒なので、ネットで調べる品目の数を増やしてほしい。

問7 ごみの減量と資源化等について、ご意見等がありましたらご自由にお聞かせください。

① 回収・分別

- ・捨て方が分かりにくいものが多いので、販売店には回収にも積極的に取り組んでほしいです。
- ・「おいくら」はとても使いやすい、と友人にききました。このような、市と事業者が連携した使いやすいツールを提供してもらえるとありがたいです。
- ・資源回収ステーションやリサイクル工房は限られた地域場所にしかないので、もっと身近な場所、行きやすい所に作って欲しい。数をもっと増やして欲しいです。
- ・他市では、捨てられたベビー用品を修理、清掃し、貸出しするサービスがあるそうです。子育て支援の観点からも神戸市も取り組んでほしいなと思っています。
- ・近くのごみステーションは燃えるごみのみなので、その他のごみも同じ場所で回収してもらえたら出しやすくなる
- ・プラごみの多さに閉口します。何かを買うと包装プラスチックごみが発生してしまう。ここをどうにかしなければと思いますが、個人では解決が難しいなと悩みます。
- ・神戸市も容器・包装プラスチック以外のプラスチックを回収してリサイクルにまわす。可燃ごみからチラシなどの紙をリサイクルに回すような働きかけが必要だと思います。
- ・正直、なるべくなんでも使い捨てしたいし、ごみ袋に処理費が乗ることで分別しなくていいのならしたくない派なので、こんな自分がどうしたら積極的にごみを減量できるか案ができません。ただ、そんな私でも納得してしまう施策が出てきたら、ぜひ協力させてもらいたいと思います。
- ・循環型社会の実現のため、ごみをコストではなく資源としてとらえ、ビジネス化していくのが望ましいと思う。そのためには市民の意識改革も必要だとは思いますが、根本的には技術的課題だと思う（分子レベルで分別するなど）。イノベーションを促進するような行政の施策を期待します。

② ごみ袋・有料化

- ・神戸市指定袋が色々種類あり。そのため我が家に必要な袋を買おうとしても、限られた袋（リットル）しか置いていない店が増えているように感じます。以前は種類も多く選べたと思います。特に小さな袋を置いてほしいです。
- ・スーパーやコンビニで会計時に販売している持ち帰り袋を、市のごみ回収時に使用できるようにシステム化してほしいです。有効に使えると無駄な購入にはならないと思います。
- ・処理費用も有料となれば、もっと無駄なごみを出さないように気を付けるようになるかもしれません。本当に必要であるならば有料にしても構わないと思います。

③ 広報啓発

- ・このアンケートをきっかけに初めて知った施策がたくさんありました。私と同様に知らない人も多いと思うので、周知徹底していくことも大事だと思います。
- ・どこまでごみが減ったのか、どれくらい金額がかかっているのか等の達成感や満足感または危機感を感じられるよう、ごみの現状をもっと詳しく知りたいです。
- ・ごみがどうなって、どんなものに生まれ変わるのか、処理されるのかが、わかりやすく知る

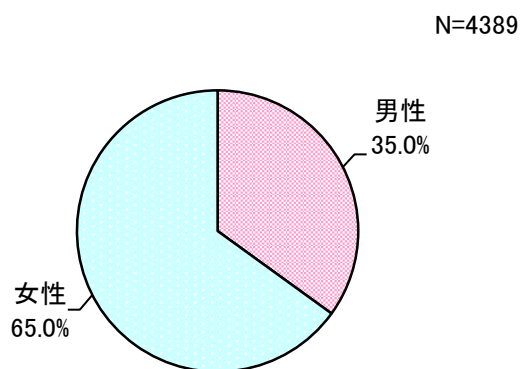
システムがほしいです。ごみ袋に処理費用がかかっても、次世代に繋ぐ、息の長いシステム作りが必要かと思えます。

④ その他

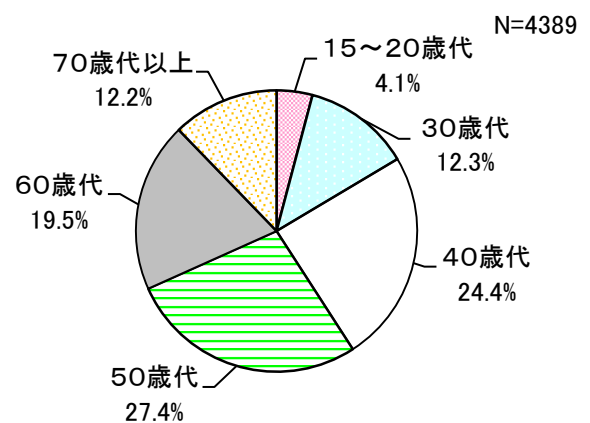
- ・リサイクル・フリーマーケットなどのイベントを企画して頂きたいです。
- ・家庭内廃油の回収など、現在回収されていない物で新しく回収頂ける様な企画立案をお願いしたいです。(新しい品物を考えるのは、難しいと思いますが、出来れば各ご家庭で処分に困っている様なものを回収頂き、それを再利用頂ける方法を考えて頂ければ、全体的に飛躍的にごみは減るものと捉えています)

全 1,013 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

【性別】



【年代】



【区】

